

令和4年度

北竜町一般会計・特別会計
決算審査報告書

監査委員 井 上 孝

監査委員 佐 藤 稔

目 次

審査の概要

1. 審査対象決算	1
2. 審査の期間	1
3. 審査の対象	1
4. 審査の要領	1

審査意見

1. 総括意見	2, 3
2. 各会計の審査概要	4
各会計決算総括表	4
(1) 一般会計	5
歳入	5
歳出	6
第1表 財源の状況	7
第2表 支出の状況	8
第3表 基金の状況	9
第4表 一部事務組合負担金調	10
(2) 国民健康保険特別会計	11
(3) 町立診療所事業特別会計	12
(4) 後期高齢者医療特別会計	13
(5) 介護保険特別会計	14
(6) 特別養護老人ホーム事業特別会計	15
(7) 農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計	16
3. 基金運用状況審査結果	17
(1) 奨学資金貸付金会計審査意見書	17
奨学資金貸付調書	18

審 査 の 概 要

1. 審査対象決算

- (1) 令和4年度北竜町一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和4年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和4年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和4年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和4年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (6) 令和4年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 令和4年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算

2. 審査の期間

令和5年8月22日、23日、24日（3日間）

3. 審査の対象

- (1) 各会計決算
- (2) 同上関係諸帳簿
- (3) 証書類及び付属書類
- (4) 財産に関する調書並びに基金運用調書

4. 審査の要領

- (1) 会計記録の正当性及び計数の確認
- (2) 予算執行の適否
- (3) 財産運用の妥当性

以上の点に主眼を置き、関係諸帳簿の精査及び証書類との照合、さらに必要に応じ担当課から資料の提出及び説明を求め、既往の監査の結果を参考にしながら審査の適正を期した。

審 査 意 見

令和4年度北竜町一般会計及び特別会計決算審査意見

審査に付された一般会計及び6特別会計とも決算の計算は正確であり、予算に従って適正に執行されていることを認めた。

1. 総括意見

①一般会計及び6特別会計について

令和4年度の一般会計及び6特別会計を合わせた決算状況は、歳入5,112,338千円で前年度に比べ53,119千円(1.0%)減収し、歳出は5,031,309千円で前年度と比べ53,686千円(1.1%)減少している。

一般会計の歳入総額は3,827,284千円で対前年度比63,153千円(1.6%)の減収、町税における不納欠損額はなく、収入未済額は6,581千円で対前年度比は427千円(6.9%)増加している。また、自主財源で対前年度比67,272千円の減収、依存財源では4,119千円の増収となっている。なお、予算に対する収入歩合は97.07%、調定に対する収入歩合は99.83%であった。

歳出では総額3,776,169千円となり性質別に分類した場合、義務的経費が1,097,240千円で対前年度比23,389千円の増額となっており歳出総額の29.0%を占めている。うち、人件費は467,279千円で対前年度比2,183千円(0.5%)の増、公債費は486,582千円で対前年度比41,699千円(9.4%)の増であっ

た。歳出全体では前年度比52,818千円の減となり、歳入歳出差引残高の実質収支は607千円の赤字となっている。

特別会計の収支は国民健康保険特別会計をはじめ全6特別会計ともに一般会計からの法定繰入れ、任意繰入れをもって収支の均衡を計っている。

財政指標のうち自主財源の割合を示す財政力指数(3カ年平均)は前年度0.008ポイント減少し0.125であった。また、経常収支比率は87.4%と前年度比1.8%上昇した。

②今後の見通しについて

一般会計及び6特別会計を合わせた決算収支状況は、前年度に引き続き単年度収支黒字決算となっている。この状況は長期にわたり続いているものの依然として歳入の主要な財源となっている。地方交付税に影響されるところが大きい。少子高齢化、人口減少化などにより納税義務者の減少が見込まれることから、今後税収の増加を期待することは難しいと思われる。また、今後は高齢化の進展による社会保障費や施設の維持保全経費など、多大な財政負担が見込まれることから、収支の均衡をより意識した厳しい財政運営が求められている。また、併せて次世代の負担軽減のため地方債残高の抑制に更に取り組む必要があると思われる。

今後、限られた財源の中で新たな町民のニーズや社会的要請などを踏まえ、事業の選択と限られた財源の効率的で重点的な配分により、より最小の経費で最大の効果が得られるよう、効果的な行政運営を一層推し進める事が求められるものと思われる。このため更なる財政の健全性を維持していくことが必要と考え、次の点に特に留意され取り組む事を望むところであります

- イ) 引き続き財政状況の硬直化が進捗していることを踏まえ、経常経費の一層の節減に努め、コスト意識を十分に持ち、経費節減に努められたい。
- ロ) 税、使用料、負担金などの未収金については町民負担の公平性の観点から、早期解消に向け計画的で効果的に回収を図ること。

2. 各会計の審査概要

決算審査にあたり、町長より各会計にわたる決算説明書の提示があったので重複をさけ、各会計別の概要を報告する。

令和4年度各会計決算総括表は、下記のとおりである。

令和4年度各会計決算総括表

(単位：円、%)

会計名	歳 入					歳 出			差引残額 (C-E)	
	予算現額	調定額	収入済額	収入歩合		予算現額	支出済額	執行率		
	A	B	C	C/A	C/B	D	E	E/D		
一般会計	3,942,696,000	3,833,865,442	3,827,284,589	97.07	99.83	3,942,696,000	3,776,169,436	95.78	51,115,153	
特別会計	国民健康保険	284,867,000	283,382,179	279,908,210	98.26	98.77	284,867,000	277,247,922	97.33	2,660,288
	町立診療所	101,989,000	95,866,883	95,866,883	94.00	100.00	101,989,000	95,353,962	93.49	512,921
	後期高齢者医療	39,184,000	37,814,559	37,814,559	96.51	100.00	39,184,000	37,799,459	96.47	15,100
	介護保険	287,548,000	285,244,081	285,218,731	99.19	99.99	287,548,000	262,728,530	91.37	22,490,201
	特別養護老人ホーム	471,860,000	466,125,203	466,125,203	98.78	100.00	471,860,000	465,536,990	98.66	588,213
	農業集落排水及び個別排水	120,596,000	120,190,356	120,120,196	99.61	99.94	120,596,000	116,472,497	96.58	3,647,699
	小計	1,306,044,000	1,288,623,261	1,285,053,782	98.39	99.72	1,306,044,000	1,255,139,360	96.10	29,914,422
合計	5,248,740,000	5,122,488,703	5,112,338,371	97.40	99.80	5,248,740,000	5,031,308,796	95.86	81,029,575	
参考	前年度実績	5,378,723,000	5,175,442,885	5,165,457,228	96.04	99.81	5,378,723,000	5,084,994,776	94.54	80,462,452
	対前年増減	△ 129,983,000	△ 52,954,182	△ 53,118,857			△ 129,983,000	△ 53,685,980		567,123
	対前年比	△ 2.4	△ 1.0	△ 1.0			△ 2.4	△ 1.1		0.7

(1) 一般会計

○歳入

- イ. 予算現額 3,942,696,000 円に対し、収入済額は 3,827,284,589 円で、収入歩合は 97.07%、対予算では 115,411,411 円の減である。また、調定額 3,833,865,442 円に対する収入歩合は 99.83%で、6,580,853 円が収入未済となっている。
- ロ. 歳入の主なものは、地方交付税が 1,782,617,000 円全体の 46.6%を占めている。以下、国庫支出金 427,274,871 円 (11.2%)、寄附金 367,959,968 円 (9.6%)、町債 352,093,000 千円 (9.2%) の順となっている。
なお、ふるさと応援寄附金では 318,820,000 円で前年度比 80,665,000 円 (△20.2%) 減となっている。
- ハ. 歳入のうち、自主財源は 899,284,405 円 (構成比 23.5%) で町税を除く主なものは寄附金 367,959,968 円、繰入金が 119,193,466 円となっている。また、町税は 169,750,200 円で前年度比 5.3%の減となっており、自主財源は 67,271,730 円 (前年比 7.0%) の減となっている。
(第 1 表 財源の状況参照)
- ニ. 町税の徴収率は、現年度分で 99.66%と高い水準にあるものの滞納分を含めると 98.45%となっている。不納欠損処分額はなく、収入未済額は 2,676,823 円で前年度と比較して 427,255 円増加している。今後においてもこれらの取扱いについて、厳正に対処され、徴収率の向上を期されたい。

○歳 出

- イ. 予算現額 3,942,696,000 円に対し、支出済額は 3,776,169,436 円で執行率は 95.78%であり、繰越明許費を除く歳出不用額は 78,052,564 円である。
- ロ. 歳出の性質別決算状況では、消費的経費が 2,033,525 千円で全体の 53.9%を占め、投資的経費は 567,811 千円で 15.0%となっている。
(第 2 表 支出の状況参照)
- ハ. 一般会計における令和 4 年度末の町債の残高は、4,744,688,626 円で、127,513,707 円の減となっている。

○総 括

- イ. 歳入歳出差引額は 51,115,153 円で、繰越明許費繰越額 397,000 円を除いた 50,718,153 円は全額翌年度に繰越された。
- ロ. 町税、使用料等の徴収率は概ね良好である。なお、農業費分担金については 3,904,030 円が収入未済となっており、引き続き納入されるように努力を期されたい。
歳入全般については、地方交付税など国からの財源に依存するところが大きく、自主財源の総額は 899,284 千円で対前年比 67,272 千円減となり、依存財源では地方交付税の増加に伴い対前年比 4,119 千円増となった。町政運営上、貴重な財源となっているふるさと応援寄附金は年々減少傾向にある。今後は返礼品の見直し等の方策により増収に向け一層努力されたい。
町税全体の収入未済額については、引き続き公正公平の観点から徴収に向け努力されたい。

第1表 財源の状況

歳入を自主財源と依存財源に区分すれば、次のとおりである。

自主財源と依存財源の対比

(単位：千円、%)

		令和4年度		令和3年度		対前年伸率
		収入済額	構成比	収入済額	構成比	
自主財源	町 税	169,750	4.4	179,314	4.6	▲ 5.3
	分担金及び負担金	17,909	0.5	10,877	0.2	64.7
	使用料及び手数料	67,759	1.8	66,376	1.7	2.1
	財 産 収 入	5,121	0.1	2,444	0.1	109.5
	寄 付 金	367,960	9.6	444,689	11.4	▲ 17.3
	繰 入 金	119,193	3.1	123,081	3.2	▲ 3.2
	繰 越 金	61,450	1.6	59,458	1.5	3.4
	諸 収 入	90,142	2.4	80,317	2.1	12.2
	計	899,284	23.5	966,556	24.8	▲ 7.0
依存財源	地 方 譲 与 税	42,740	1.1	42,540	1.1	0.5
	利子割交付金	67	0.0	114	0.0	▲ 41.2
	配当割交付金	500	0.0	577	0.0	▲ 13.3
	株式等譲渡所得割交付金	402	0.0	699	0.0	▲ 42.5
	法人事業税交付金	3,142	0.1	2,087	0.0	50.6
	地方消費税交付金	47,404	1.2	48,754	1.3	▲ 2.8
	自動車取得税交付金	0	0.0	0	0.0	-
	自動車環境性能割交付金	3,560	0.1	2,786	0.1	27.8
	地方特例交付金	423	0.0	2,282	0.1	▲ 81.5
	地 方 交 付 税	1,782,617	46.6	1,759,690	45.2	1.3
	交通安全対策特別交付金	0	0.0	0	0.0	-
	国庫支出金	427,275	11.2	342,349	8.8	24.8
	道 支 出 金	267,777	7.0	284,896	7.4	▲ 6.0
	町 債	352,093	9.2	437,107	11.2	▲ 19.4
計	2,928,000	76.5	2,923,881	75.2	0.1	
歳 入 計		3,827,284	100.0	3,890,437	100.0	▲ 1.6

第2表 支出の状況

歳出の状況を性質別に区分すれば、次のとおりである。

決算状況

(単位：千円、%)

		令和4年度		令和3年度		対前年伸率
		支出済額	構成比	支出済額	構成比	
消費的経費	人件費	467,279	12.4	465,096	12.1	0.5
	物件費	614,154	16.3	570,311	14.9	7.7
	維持補修費	101,273	2.7	97,371	2.6	4.0
	扶助費	143,379	3.8	163,872	4.3	▲ 12.5
	補助費等	707,440	18.7	744,491	19.4	▲ 5.0
	計	2,033,525	53.9	2,041,141	53.3	▲ 8.3
投資的経費	普通建設事業費	567,811	15.0	600,494	15.7	20.2
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	-
	計	567,811	15.0	600,494	15.7	20.2
その他	公債費	486,582	12.8	444,883	11.6	9.4
	積立金	266,394	7.1	368,773	9.7	▲ 27.8
	投資及び出資金・貸付金	37,080	1.0	35,641	0.9	4.0
	繰出金	384,777	10.2	338,055	8.8	13.8
	計	1,174,833	31.1	1,187,352	31.0	2.6
歳出計		3,776,169	100.0	3,828,987	100.0	▲ 1.4

第3表 基金の状況

(単位：円)

名 称	令和3年度末残高	令和4年度中増減		令和4年度末残高
		積立金	取り崩し	
財政調整基金	485,437,696	169,979	0	485,607,675
減債基金	369,525,700	104,938,231	9,938,028	464,525,903
公共施設整備基金	330,015,974	21,979	0	330,037,953
ふるさと応援基金	706,303,759	151,163,761	96,000,000	761,467,520
地域福祉基金	55,487,450	3,873	3,873	55,487,450
農業振興基金	30,717,242	3,009,781	11,168,860	22,558,163
ひまわりバンク育成基金	12,126,143	3,929	408,000	11,722,072
農地保有合理化促進事業基金	6,335,684	2,021	1,310,275	5,027,430
森林環境基金	6,397,741	3,578,139	364,430	9,611,450
商工ひまわり基金	12,685,168	885	0	12,686,053
青少年育成基金	61,293	3,500,001	0	3,561,294
生涯学習振興基金	11,745,009	819	0	11,745,828
計	2,026,838,859	266,393,398	119,193,466	2,174,038,791

※参 考

(単位：円)

名 称	令和3年度末残高	令和4年度中増減		令和4年度末残高
		積立金	取り崩し	
北海道市町村備荒資金組合納付金	151,447,154	980,273	0	152,427,427
国民健康保険特別会計財政調整基金	59,348,692	3,729	4,000,000	55,352,421
介護保険特別会計介護給付費準備基金	2,466,304	995,049	0	3,461,353
特別養護老人ホーム特別会計財政調整基金	1,478,339	180,027	0	1,658,366
計	214,740,489	2,159,078	4,000,000	212,899,567

※特別会計繰出金額

(単位：円)

会 計	令和3年度決算額	令和4年度決算額	増 減
国民健康保険特別会計	20,689,132	19,719,311	▲ 969,821
町立診療所事業特別会計	24,686,991	26,831,685	2,144,694
後期高齢者医療特別会計	11,691,045	12,422,069	731,024
介護保険特別会計	41,853,838	42,756,204	902,366
特別養護老人ホーム事業特別会計	113,494,337	159,569,481	46,075,144
農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計	71,200,000	74,019,000	2,819,000
計	283,615,343	335,317,750	51,702,407

第4表 一部事務組合負担金調

(単位：千円)

組 合 名	令和4年度 負担金額	令和3年度 負担金額	増 減	算 定 基 礎
北空知衛生施設組合	4,861	6,658	▲ 1,797	運営費 平均割 10%、ごみ量割 90% 建設費 ごみ量割 100%
北空知衛生センター 組合	24,376	25,150	▲ 774	し尿 経常経費 過去1年間の収集実績割 建設経費 北竜町 9.50% 可燃ごみ 経常経費 過去1年間の収集実績割 建設経費 均等割 10%、ごみ量割 90%
北空知葬斎組合	0	0	0	人口割 (直近の国調人口) 100%
深川地区消防組合	131,520	144,647	▲ 13,127	人口割 50%、世帯割 40%、面積割 5%、財政割 5%
空知教育センター組合	312	313	▲ 1	運営費 滝川市1/2、その他市町1/2 (平均 30%、人口 35%、 教職員 35%) 研修費 平均 20%、人口 20%、教職員 30%、距離 30%
北空知圏学校給食組合	10,778	11,088	▲ 310	運営費 実給食人数割 100% 建設費 均等割 10%、計画給食人数割 90%
中・北空知廃棄物処理広 域連合	10,296	8,455	1,841	運営費 前々年度まで過去3か年の平均ごみ量割 建設費 均等割 10%、固定ごみ量割 90%
計	182,143	196,311	14,168	

令和4年度 各市町別一部事務組合負担額調

(単位：千円)

組 合 名	深川市	妹背牛町	秩父別町	沼田町	雨竜町	北竜町	計
北空知衛生施設組合		10,406	5,999	7,102		4,861	28,368
北空知衛生センター組合	220,686	34,640	25,591	33,846		24,376	339,139
深川地区消防組合	475,925	86,950	80,189	153,672		131,520	928,256
空知教育センター組合	868	353	329	349	339	312	18,202
北空知圏学校給食組合	106,818	16,737	15,562	16,575		10,778	166,470
中・北空知廃棄物処理広 域連合	138,416	16,031	14,191	16,397	14,830	10,296	722,159
計	942,713	165,117	141,861	227,941	15,169	182,143	2,202,594

※ 空知教育センター組合、中・北空知廃棄物処理広域連合については、関係市町のみ記載のため計は=とならない。

(2) 国民健康保険特別会計

○歳 入

- イ. 予算現額 284,867,000 円に対し、収入済額は 279,908,210 円で収入歩合は 98.26%、対予算では 4,958,790 円の減である。また、調定額 283,382,179 円に対しては収入歩合 98.77%で 3,473,969 円が収入未済となった。
- ロ. 国民健康保険料の予算に対する収入歩合は、101.51%と前年度比 0.26%増となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 19,719,311 円で歳入総額に占める割合は 7.04%であり、対前年度比 969,821 円の減となっている。

○歳 出

- イ. 予算現額 284,867,000 円に対し、支出済額は 277,247,922 円で執行率は 97.33%、7,619,078 円が不用額となっている。
- ロ. 支出済額のうち、保険給付費は 170,324,205 円（構成比 61.43%）、国民健康保険事業納付金は 96,647,000 円（同 34.86%）、が主なもので歳出総額の 96.29%を占めている。

○総 括

- イ. 歳入歳出において、2,660,288 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 令和 4 年度末の財政調整基金残高は 55,352,421 円で 4,000,000 円を取崩し、前年度に比べ 3,996,271 円の減となっている。
- ハ. 国民健康保険料の徴収率は現年度分で 99.40%である。令和 4 年度の収入未済額は 3,473,969 円で、前年度と比較すると 225,810 円減少しているが、引き続き滞納者の状況把握に一層努められたい。

(3) 町立診療所事業特別会計

○歳 入

- イ. 予算現額 101,989,000 円に対し、収入済額は 95,866,883 円で収入歩合は 94.00%、対予算では 6,122,117 円の減である。
- ロ. 診療収入は、町立診療所が 64,163,359 円で前年度比 3,958,460 円減となっている。また、町立歯科診療所では 10,483,164 円で前年度比 205,510 円の減となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 26,831,685 円で、歳入総額に占める割合は 27.99%であり、対前年度比 2,144,694 円の増となっている。

○歳 出

- イ. 予算現額 101,989,000 円に対し、支出済額は 95,353,962 円で執行率は 93.49%、6,635,038 円が不用額となっている。

○総 括

- イ. 歳入歳出においては 512,921 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 診療収入は、町立診療所で対前年度比 5.8%減、町立歯科診療所では対前年度比 1.9%減であった。一般会計からの繰入金は対前年度比 2,144,694 円増の 26,831,685 円となっており、依然として高い値となっている。
町立診療所及び町立歯科診療所の経営については、なお一層努力をされたい。

(4) 後期高齢者医療特別会計

○歳 入

イ. 予算現額 39,184,000 円に対し、収入済額は 37,814,559 円で収入歩合は 96.51%、対予算では 1,369,441 円の減となっている。

ロ. 一般会計からの繰入金は 12,422,069 円で、歳入総額に占める割合は 32.85%であり、対前年度比 731,024 円の増となっている。

○歳 出

イ. 予算現額 39,184,000 円に対し、支出済額は 37,799,459 円で執行率は 96.47%、1,384,541 円が不用額となっている。

○総 括

イ. 歳入歳出においては、15,100 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。

(5) 介護保険特別会計

○歳 入

- イ. 予算現額 287,548,000 円に対し、収入済額は 285,218,731 円で収入歩合は 99.19%、対予算では 2,329,269 円の減である。
- ロ. 介護保険料の徴収率は、現年度分が 99.95%で 52,092,800 円、収入未済は 25,350 円となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 42,775,704 円で、歳入総額に占める割合は 15.00%であり、対前年度比 921,866 円の増となっている。

○歳 出

- イ. 予算現額 287,548,000 円に対し、支出済額は 262,728,530 円で執行率は 91.37%、24,819,470 円が不用額となっている。
- ロ. 支出総額のうち、保険給付費が 221,176,337 円（構成比 84.18%）で前年度比 14,615,412 円減、地域支援事業費 25,539,044 円（同 9.72%）が主なもので全体の 93.90%を占めている。

○総 括

- イ. 歳入歳出において 22,490,201 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 介護給付費準備基金残高は少額であり、今後介護給付費が増加する懸念があり、留意をされたい。

(6) 特別養護老人ホーム事業特別会計

○歳入

- イ. 予算現額 471,860,000 円に対し、収入済額は 466,125,203 円で収入歩合は 98.78%、対予算では 5,734,797 円の減となっている。
- ロ. 介護収入は、283,078,425 円で前年度比 18,604,082 円の減となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 159,569,481 円で歳入総額に占める割合は 34.23%であり、前年比 46,075,144 円の増であった。

○歳出

- イ. 予算現額 471,860,000 円に対し、支出済額は 465,536,990 円で執行率は 98.66%、6,323,010 円が不用額となっている。

○総括

- イ. 歳入歳出において 588,213 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 令和 4 年度の財政調整基金残高は 1,658,366 円、対前年度比 180,027 円の増となっている。
- ハ. 入所定員に見合う職員確保に図り、入所者の増員に向け努力された。

(7) 農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計

○歳入

- イ. 予算現額 120,596,000 円に対し、収入済額は 120,120,196 円で収入歩合は 99.61%、対予算では 475,804 円の減となっている。
また、調定額 120,190,356 円に対しての収入歩合は 99.94%で 70,160 円が収入未済となっている。
- ロ. 下水道使用料（浄化槽を含む。）の現年度分の収納率は 99.79%となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 74,019,000 円で歳入総額に占める割合は 61.62%であり、対前年度比 2,819,000 円の増となっている。

○歳出

- イ. 予算現額 120,596,000 円に対し、支出済額は 116,472,497 円で執行率は 96.58%、4,123,503 円が不用額となっている。
- ロ. 公債費は 50,686,716 円で、歳出総額の 43.52%を占めている。

○総括

- イ. 歳入歳出において 3,647,699 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 令和 4 年度末の農業集落排水事業への加入戸数は 457 戸（構成員数 886 人）で区域内対象戸数 474 戸（構成員数 914 人）に対し、96.4%の加入率となっている。
また、個別排水処理事業への加入戸数は 190 戸（構成員数 543 人）で対象戸数 317 戸（構成員数 716 人）に対し、59.9%の加入率となっている。
- ハ. 農業集落排水事業及び個別排水処理事業使用料の滞納額は、過年度分で 70,160 円となっている。引き続き滞納額の徴収に最善の努力をされたい。

3. 基金運用状況審査結果

(1) 北竜町奨学資金貸付基金審査意見書

令和4年度北竜町奨学資金貸付基金の運用状況について審査し、次のとおり意見を付す。

令和5年8月28日

監査委員 井 上 孝

監査委員 佐 藤 稔

1. 審査意見

審査の結果、運用に関する調書の計数は正確であり、その運用は設置の目的に従って原資金の範囲内において運用されている。

令和4年度 北竜町奨学資金貸付調書

(単位：円)

区 分	令和3年度末 現 在 高	令和4年度中の増減			令和4年度末 現 在 高
		増	減	免 除	
貸 付	33,226,000	8,100,000	8,960,000		32,366,000
運 用	11,711,666	10,460,599	8,100,000		14,072,265
合 計	44,937,666	18,560,599	17,060,000		46,438,265

※令和4年度中増減の内訳

(単位：円)

	増		減	
貸 付	新規 4人	1,680,000	貸付金返還	8,960,000
	継続 12人	4,920,000	27件	
	新規 1人 (特別奨学資金)	300,000		
	継続 4人 (特別奨学資金)	1,200,000	一件	一件
	計	8,100,000	計	8,960,000
運 用	貸付金返還	8,960,000	新規貸付	1,680,000
	原 資	1,500,000		
	預金利息	599	継続貸付	4,920,000
	寄 附 金	0	新規貸付 (特別奨学資金)	300,000
	基金積立金		継続貸付 (特別奨学資金)	1,200,000
	計	10,460,599	計	8,100,000
合 計	計	18,560,599		17,060,000